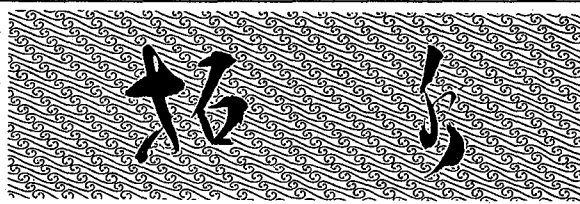


合成洗剤を追放しよう!!

生命のふるさと 海を守るために



(会員の購読料は指導事業経費より支払われています)

発行所 兵庫県漁業協同組合連合会 兵庫県水産改良普及協会 神戸市兵庫区中の島2の201 TEL 681-6954~7 発行人 兵庫県漁業協同組合連合会

総括表

Table with 4 columns: 事項 (Items), 56年度 (56th Year), 57年度 (57th Year), 対前年比 (vs. Previous Year). Rows include 一般会計 (General Account), 非公 (Non-public), 一般公 (General Public), 漁 (Fishing), 沿岸漁場整備 (Coastal Fishing Ground Improvement), 災害復旧 (Disaster Relief), 特別会計 (Special Account).

(計数は異動することがある)

昭和57年度 水産予算概算要求額決る

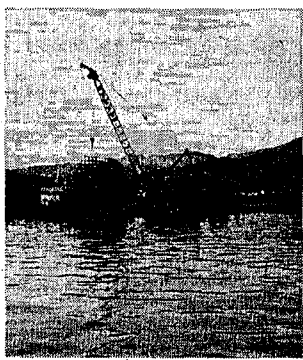
昭和五十七年度予算概算要求に当たっては、財政再建と行政改革推進の観点から、いわゆるゼロ・シーリングの実施、公共事業関係費の抑制、補助金等の整理合理化等が強く要請され、農林水産省全体の予算要額は総額三兆七、〇一〇億円、対前年度比一〇〇・二%の伸びにとどまった。このような中で、水産関係予算については、二〇〇カテゴリー制への移行、燃油価格の高騰等、最近の水産を取り巻く厳しい諸情勢を踏まえて、①水産業経営対策の充実②わが国周辺水域の漁業の振興③漁業生産装置の整備④豊かな漁村の建設⑤海洋水産資源の開発と海外漁場の確保⑥水産物の消費・価格・流通加工対策⑦漁業災害補償制度の改善⑧漁場環境保全対策等に重点を置いた。この結果、水産庁関係予算要求額は、総額三、二二一、五八百万円、対前年度比

三、二二二億五、八百万 経営対策などに重点

一〇一・八%となった。水産予算要求のうち、非公共は一、四一、八九百万円、対前年度比一〇二・二%、公共は二、〇七、七九百万円、対前年度比一〇一・二%となつてゐる。

全振協五十七年度 水産予算で要望

社団法人全国沿岸漁業振興開発協会は、このほど、水産庁、大蔵省等に対して五十七年度の沿岸漁業の振興に関する予算確保について陳情した。同陳情の骨子は、①沿岸漁場整備開発事業の推進②沿岸漁業構造改善事業の推進③栽培漁業等の推進④事業推進に係る金融措置⑤であるが、その内容は次のとおり。



はじめ、種づくりとして、の栽培漁業、沿岸漁業の生産性向上あるいは環境を整備する沿岸漁業構造改善事業を一層強力に推進することが必要である。園におかれては、目下、財政再建計画を進められつつあるところであるが、かかる沿岸漁業の現状をご高察され、昭和五十七年度予算編成に当って次の事項の実現につき特段のご配慮を賜わりたい。

- 1. 沿岸漁場整備開発事業の推進について
2. 栽培漁業の推進を図るため、園の栽培漁業センター事業場の海城別施設整備を着実に進めるとともに、日本栽培漁業協会の行う重要魚類の種苗生産に係る技術開発事業の拡充強化を図ること。また、県管栽培漁業センターについても放流技術開発事業の一層の推進を図ること。
3. 地域における栽培漁業の定着、養殖業の生産体制整備等を進めるため、地域栽培推進推進整備パイロット事業の積極的な推進を図ること。
4. 第二次沿岸漁業構造改善事業を計画すること。
5. 漁村緊急整備事業については、漁村の環境整備の緊急性にかんがみ十分な予算を確保すること。
6. 栽培漁業の推進について
7. 栽培漁業の推進を図るため、園の栽培漁業センター事業場の海城別施設整備を着実に進めるとともに、日本栽培漁業協会の行う重要魚類の種苗生産に係る技術開発事業の拡充強化を図ること。また、県管栽培漁業センターについても放流技術開発事業の一層の推進を図ること。
8. 地域における栽培漁業の定着、養殖業の生産体制整備等を進めるため、地域栽培推進推進整備パイロット事業の積極的な推進を図ること。
9. 第二次沿岸漁業構造改善事業を計画すること。
10. 漁村緊急整備事業については、漁村の環境整備の緊急性にかんがみ十分な予算を確保すること。
11. 栽培漁業の推進について
12. 栽培漁業の推進を図るため、園の栽培漁業センター事業場の海城別施設整備を着実に進めるとともに、日本栽培漁業協会の行う重要魚類の種苗生産に係る技術開発事業の拡充強化を図ること。また、県管栽培漁業センターについても放流技術開発事業の一層の推進を図ること。

第五回兵庫県漁青連ソフトボール大会 秋晴れの下 十二チームで覇を競う 九月十四日高砂市宮向島球場で



優勝旗を受ける沼島チーム代表

渡辺投手四試合完封! 大優勝旗沼島へ渡る

Table showing tournament results and scores for various teams including 神戸市, 沼島, 明石, 江井, 伊保, 森, 菅津, 沼島, 家島, 室津, 沼島, 家島, 室津, 沼島, 家島, 室津, 沼島, 家島, 室津.

### 水試ノート⑥

## ヒラメの種苗生産試験

ヒラメは日本各地の沿岸域に分布する高級魚である。近年、この種苗生産技術の開発によって人工種苗が得られるようになり、餌料効率が高く成長も良い点などから、養殖や放流の対象種として注目されている。

ヒラメの種苗生産については、昭和四〇年に近大日浜臨海実験場で試みられ、その後、鳥取水試、新潟水試などで研究が進められてきた。

当水試では、内海域における種苗生産技術の安定化を目的として、昭和五五年と五六年の二年間、本種の種苗生産試験を行い、一応、順調な結果を取った。

ヒラメの産卵期は、西日本では三月六日で、親魚は普通三年から四年で成熟し、卵数は体長によつて差はあるが、五〇cmで約五〇万粒、一尾の雌は産卵期間中に何回も卵を産出する。

種苗生産における採卵方法は、人工受精による場合と飼育親魚の自然産卵を待つ場合(二)の方法がある。確実な魚か

ら後者の方法が多く用いられている。

今回の試験では、親魚養成に間に合わないので、五月上旬に鳥取県と新潟県から卵を選び、ふ化から始めた。

ヒラメの卵は、直径〇・九五mmの浮遊卵で、約七〇時間後(水温一五・〇前後)にふ化した。

ふ化後、四日から五日目で開口し摂餌をはじめ、餌には別に培養したシオミズボウムシ(大きき〇・一〇×二mm)を与え、一〇日位からアルテミア幼生を併用した。

ふ化から着底するまで約三〇日間は浮遊しており、この間の形態と成長は図1のとおりである。

一五日目位からヒラメ仔魚の特徴であるトゲ(鰓状突起)が認められ、終日と共に変態が進み、ふ化後三〇日(四〇日で一五mmサイズとなり、着底するようになった。

この着底期までの歩留は、ふ化仔魚の約五〇%であり、アルテミア幼生の投餌量が多いほど成長が良かった。

着底期以降は、けだりの収容密度を一〇×二〇cmに調整し、換水も流水式にして、餌は生物餌料から冷凍アミに切り替え、ふ化後約五〇日(三〇日サイズとなり、一応種苗生産の段階は終了したが、着底期以降の歩留向上策が今後の課題ともいえる。

この種苗生産試験によって出来た稚魚の一部を、現在、親魚養成のためにイカナゴを与えて飼育中である。この間の成長は、一年後の六月で体長二六cm、一〇月には体長三〇cm(最大四〇cm)と、天然よりも大きくなっている。

(種苗生産研究室・N)

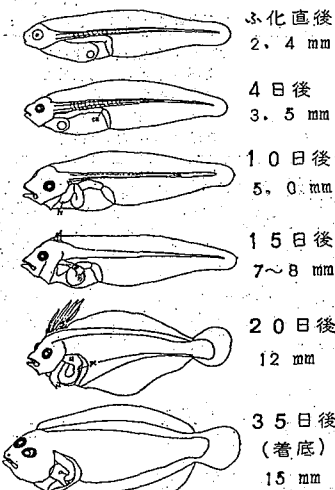


図1. ヒラメ仔魚の成長図

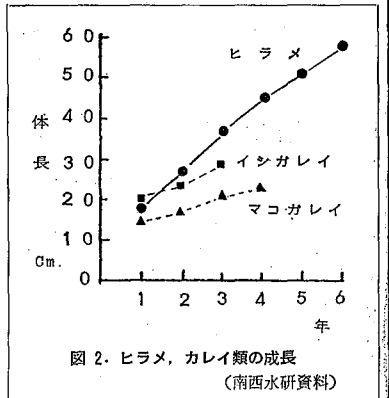


図2. ヒラメ、カレイ類の成長 (南西水研資料)

## ヒラメの標識放流結果について

### 第二報 兵庫県立水産試験場

「拓水」第二九四号昭和五六年三月一〇日発行)で、昭和五五年二月九日播磨灘東部のカクタマブイで放流したヒラメの再捕結果(五六年二月一八日現在)について中間報告しましたが、今回二月一九日に再捕報告三〇までの間に再捕報告があったものについて、とりまとめましたので結果を報告します。

前報では、本年二月一八日までの再捕尾数は八二尾で、全体の八四%に当たる六九尾が大阪湾で再捕されており、大多数のものが明石海峡を通過して大阪湾へ入ったこと、またその主たる再捕場所は淡路島飯屋沖の水深五〇〜六〇mの海域で再捕されていることからみて、放流ヒラメがこの海域で越冬するものと考えられることを報告しました。

今回は春・夏季におけるヒラメの再捕経過や移動状況について結果をお知らせするとともに、若干の考察を加えてみたいと思います。

まず、再捕尾数は二月一九日〜九月三〇日の間に四〇尾が再捕されており、前報と合わせて総計一二二尾となっており、このうち再捕された二〇尾(九二%)の再捕率は、マダライの標識放流の再捕率にくらべると極めて高い値であるといえます。このことはヒラメが着床生活をしないことなど生活様式と関係があるものと考えられます。

附表に時期別漁具別再捕経過を示しましたが、これによると全体の九二%(一一二尾)のものが底曳網で再捕されており、ヒラメの生息場所が砂泥質であることが伺えます。

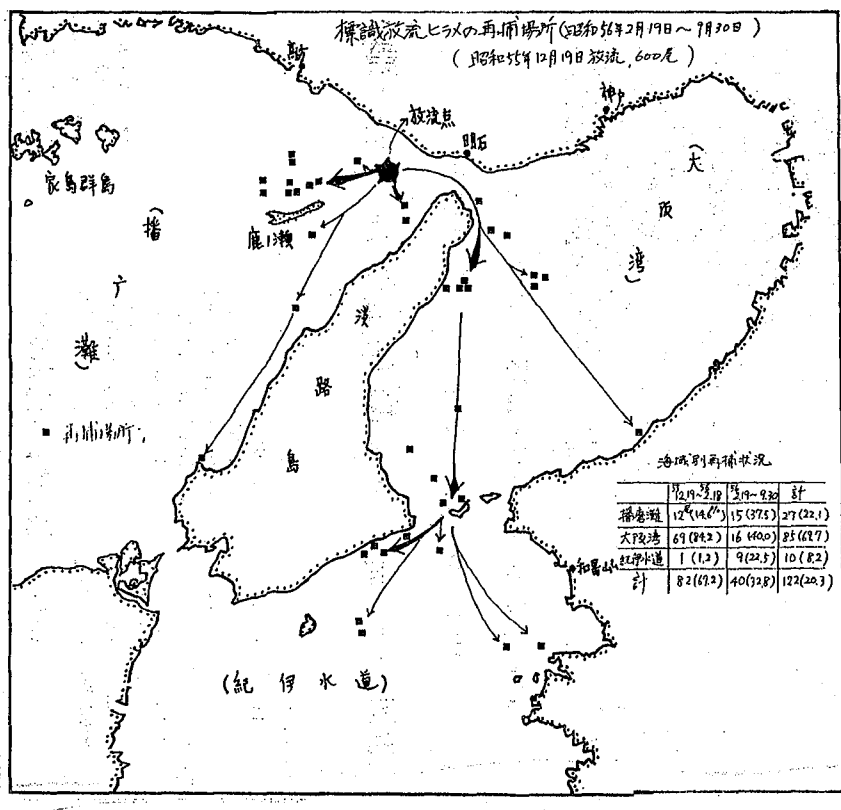
また時期別の再捕経過をみると、一一二月の冬季三ヶ月間に全体の七五%(九二尾)が再捕されたが、三月以降は急激に再捕尾数が減少しております。このことは、二月末までは主として越冬場所と思われる飯屋沖の深みで再捕されていたものが、三月に入って水温が上昇するにつれて索餌活動が活発となり、ヒラメが分散移動したためと考えられます。

なお、八月に一尾が再捕されており、これは八月二日に飯屋沖一・三kmで底曳網により獲られたもので、その後再捕報告はありません。

「拓水」第二九四号昭和五六年三月一〇日発行)で、昭和五五年二月九日播磨灘東部のカクタマブイで放流したヒラメの再捕結果(五六年二月一八日現在)について中間報告しましたが、今回二月一九日に再捕報告三〇までの間に再捕報告があったものについて、とりまとめましたので結果を報告します。

(附表) 時期別漁具別再捕経過 (56年9月30日現在) (55年12月19日放流、600尾)

再捕時期(年月)	再捕漁具				計
	定置網	刺網	底びき網	その他	
55 12			52		52
56 1	1	1	23		25
2			14	1(船曳)	15
3			5		5
4		3	6		9
5	2		4		6
6		1	4		5
7		1	3		4
8			1		1
9					
計	3(2.5)	6(4.9)	112(91.8)	1(0.8)	122(20.3)



### 海技従事者臨時試験・講習会案内

昭和56年度下期海技従事者臨時試験実施公示に伴い下記のとおり養成講習会を行います。希望者は期限までに所属漁協を通じて申込んで下さい。

- 種別 乙種二等航海士・丙種船長  
 講習期間 昭和56年12月11日〜25日(1ヶ月)  
 試験開始日 昭和57年1月6日〜25日  
 試験場所 兵庫県城崎郡香住町  
 申込期限 昭和56年11月20日  
 受講(試験)資格
- 試験開始の前日までに19才9ヶ月に達している者
  - 次の乗船履歴を有する者  
 乙二航=20トン以上の漁船に乗組み  
 丙船長=10トン以上の漁船に乗組み  
 各3年以上運航の業務に従事する者  
 (5年以内のうち上記の履歴が必要)

次にヒラメの移動状況について述べてみたいと思います。

まず海域別の再捕率(尾数)は、本報告でとり扱った二〜九月の春・夏季では、播磨灘二七・五%(一五尾)、大阪湾四〇・〇%(一六尾)、紀伊水道二二・五%(九尾)となっており、冬季間(一一二)に比べて大阪湾で再捕される割合が著しく減少(一四・四%)した反面、播磨灘(一三・三%)および紀伊水道(一三・三%)での再捕が増加しております。

冬季に多くみられた飯屋沖での再捕は少なく、播磨灘に減少しております。友ヶ島水道および紀伊水道北部海域へと南下移動したことが伺えます。

播磨灘では、朝・朝北部の一〇番ブイ周辺で多く再捕されておりますが、

また大阪湾では湾中央部より東に移動する個体はみられておりません。なお最も大きな移動をした個体は和歌山県下津港大崎沖まで達してあります。

次報では成長を中心に報告したいと考えております。

再捕報告につきましては今後とも御協力をお願いいたします。

(資源部 松田)

年金の話題

日本人の平均寿命

男七十一・二歳 女七十八・八歳

世界一の長寿国といわれてきた日本人の平均寿命は、昭和五十五年男七十三・三歳、女七十八・八歳となり、前年に比べて男が〇・一四歳、女が〇・〇六歳それぞれ短くなった。

これは、厚生省が発表した「五十五年簡易生命表」で明らかになったもので、男女の平均寿命が共に短くなったのは昭和三十一年以来のことである。

簡易生命表とは、この簡易生命表は昭和五十五年十月実施された大規模調査結果(一多抽出集計)と昭和五十五年の人口動態統計をもとに、厚生省大臣官房統計情報部が作成したものである。

平均寿命は、昭和五十五年の死亡状況が今後とも変わらないと仮定して、各年齢層で「あと何年生きられるか」をばじき出したもので、この年に生まれた零歳児の平均余命が日本人の「平均寿命」となる。

平均寿命の推移 日本人の平均寿命がばじき出されたのは明治二十四年から同三十一年の人口統計資料を基にしたのが最初で、その時は男四十二・八〇歳、女四十四・三〇歳であった。男女とも五十歳を超えたのは昭和二十三年で、男五〇・六歳、女五十三・九六歳だった。その後、昭和二十五年から同二十

七年まで毎年男女とも一歳ずつという大幅な伸びをみせ、この間の昭和二十五年に女の平均寿命が六十歳を突破し、男の平均寿命も昭和二十五年に六十歳を突破した。

その後、平均寿命の伸びは多少ゆるやかに変わったものの、インフレーションの流行で死亡数の多かつた昭和二十一年、三十二年(男だけが前年を下回る)を除いて着実に伸び続け、昭和三十四年には男が六十五歳を突破し、女も昭和三十五年には七十歳を突破した。さらに、昭和四十六年には男七十歳、女七十五歳を超え、以後順調な伸びを示して昭和五十四年には男七十二・四六歳、女七十八・八九歳を記録した。

これだけ短期間で「長寿国世界一」になったのは奇跡的と言われている。平均寿命が落ちた原因は、昨年、男女とも平均寿命が落ちた原因は、

① 例年以上に寒かった昭和五十五年一月〜三月に、六十五歳以上の高齢者を中心に肺炎、気管支炎、心臓病、脳卒中など死亡した人が急増したこと。 ② 乳幼児など若い世代の死亡率は改善されているのに七十歳以上の老人の死亡率が高まったことなどがあげられる。

平均寿命の国際比較

Table with columns: 国名, 作成基礎期間, 男, 女. Lists countries like Japan, Sweden, Norway, etc., and their life expectancy data.

主な年齢の平均余命とその伸び

Table with columns: 年齢, 男, 女. Shows life expectancy at various ages (0, 5, 10, 15, 20, 25, 30, 35, 40, 45, 50, 55, 60, 65, 70, 75, 80, 85) for men and women.

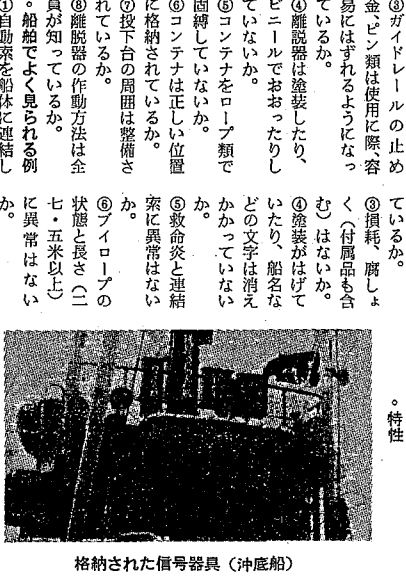
五十五年簡易生命表から

もとも厚生省では、今回のマイナスは一時的な現象であり、今後とも諸外国の平均寿命の比較は、困り生命表の作成基礎期間等が違つて

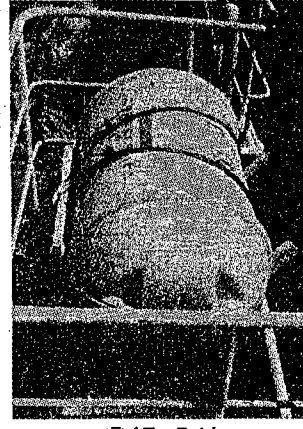
で厳密にはできないが、各国が公表している資料をみると、世界の最長寿国はアイスランド(一九七一年九七・八歳)の男七十三・四歳、女七十九・三歳であり、日本は二七・三歳である。

漁船員安全シリーズ

1. ライフライン(膨脹式救命いかた) ①自動索の先端は、投下台または船体固定部に連結されている。 ②ガイドレールはきびついでいない。 ③金ピン類は使用に際し容易にはずれるようになっている。 ④脱脱器は塗装したり、ビニールでおおったりしてない。 ⑤コンテナをロープ類で固縛してない。 ⑥コンテナは正しい位置に格納されている。 ⑦投下台の周囲は整備されている。 ⑧脱脱器の作動方法は全員が知っている。 ⑨自動索を船体に連結していない船;投下しても開かない。 ⑩脱脱器が作動不能の状態にある船(ビニールでおおつ、ペイントで塗りかためる);直ちに投下することができない。 ⑪水際二米で自動的に脱脱器が作動して、ライフ・ブートが水面に浮き上がるのを妨げることになる。 ⑫コンテナをロープで固縛している船;緊急時の投下に時間がかかる。また、

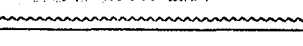


格納された信号器具(沖底船)



ライフ、ライト

①自己点火式ライト ②自己発煙信号機 ③落下灯付信号機 ④火せん⑤信号機 ⑥水密電燈 ⑦日光信号機 ⑧水密電燈 ⑨日光信号機 ⑩耐水信号機 ⑪自己発煙信号機 ⑫落下灯付信号機 ⑬火せん⑭信号機 ⑮水密電燈 ⑯日光信号機 ⑰水密電燈 ⑱日光信号機 ⑲耐水信号機 ⑳自己発煙信号機 ㉑落下灯付信号機 ㉒火せん㉓信号機 ㉔水密電燈 ㉕日光信号機 ㉖水密電燈 ㉗日光信号機 ㉘耐水信号機 ㉙自己発煙信号機 ㉚落下灯付信号機 ㉛火せん㉜信号機 ㉝水密電燈 ㉞日光信号機 ㉟水密電燈 ㊱日光信号機 ㊲耐水信号機 ㊳自己発煙信号機 ㊴落下灯付信号機 ㊵火せん㊶信号機 ㊷水密電燈 ㊸日光信号機 ㊹水密電燈 ㊺日光信号機 ㊻耐水信号機 ㊼自己発煙信号機 ㊽落下灯付信号機 ㊾火せん㊿信号機



海中で膨張した救命ボール

Advertisement for Yanmar Diesel engines. Text: '余裕の出力、曳き力抜群!' (Generous output, excellent pulling power!). Features a 3EH15 engine with 15 horsepower and 1440 RPM. Includes a photo of the engine and contact information for Yanmar Diesel Co., Ltd.

「船員の広場」昭和56年度第3期番組表

放送曜日 毎週木曜日 (日本時 19:30~19:45 世界時 10:30~10:45 3.925.6.055.9595 NHZ 運輸省船員局)

(10月~12月)

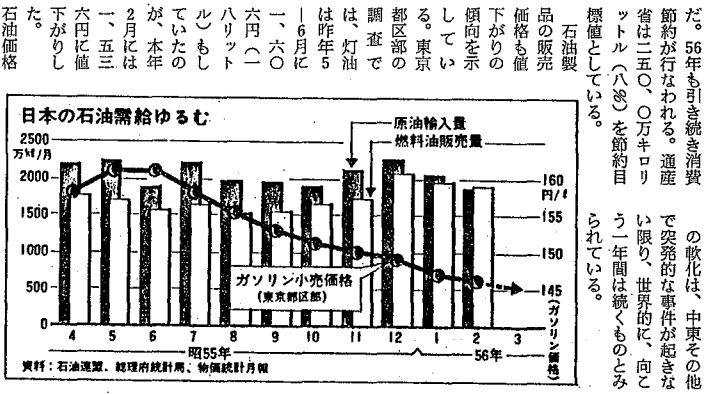
Table with columns: 月日 (Date), タイトル (Title), 内容 (Content), 執筆者 (Author). It lists various topics like '船内レクレーションの紹介' and '漁船災害事例'.

Q 石油情勢はどうなるか

原油はダブつき 世界の石油市場は、八〇一八年冬期需要期を余剰をもつて供給過剰、4月には原油の供給過剰が著しくなり、4月末時点まで落ちると見込まれる。一方、生産の方はOPECが七九年半ばの三二五〇万バレル/日程度にまで減産に転じて、八〇年には二六八〇万バレル/日まで下落。本年もさらには減産を続け、二五〇〇万バレル/日程度になると観測される。この程度でも、現在及び向こう一年間の需給状態を考えると、それほど悲観したものではない。

A 供給過剰で一転買い手市場へ 価格も軟調気味に推移か

第二に、イラン、イラク両国の戦争が事実上の停戦状態に入り、一時はマイナスに落ち込んだ産油量が、両国合算で二〇〇〇万バレル/日程度まで回復してきたこと。第三には、OPEC減産を完全に埋め合わせるまではいかながら、非OPECが一貫して増産基調にあることも、明るい材料。需給の緩和を反映して、価格上昇圧力は一挙に縮小した。サウジを除き、産油国は昨年夏、大幅なプレミアムつきで、原油を売ってきた。しかし今年に入って強気の販売ができなくなり、徐々にプレミアムの上乗せを



「海の安全メモ」昭和56年10月~12月の放送計画

Table with columns: 月日 (Date), タイトル (Title), 放送予定者 (Broadcasting Party), 放送概要 (Broadcast Summary). It details safety programs for October, November, and December.

いすゞ マリンエンジン UM06BB1B 高速への挑戦! 特長 1.小型、軽量、高出力 2.卓越した耐久性、信頼性 神戸いすゞ自動車株式会社

大遭難④ この事件で、博組合長の手記。当時東京神在の但馬出身者が組織していた大遭難団(但馬会)の有志が縁故者に発した義捐金募集趣意書、二月四日暴風時の気象図、遭難後の七月四日但馬船機漁船協会(後年県電協)に脱皮する団体。協会に臨席の豊岡測候所長のその時における談話の要旨が柴山漁船の古文書の中に残っている。後世のために原文のまま再現して読者の参考を供したい。(製字、脱字は訂正補充、漢字は当用漢字に修正)

漁協一代(その十二) 作花英治 不安な減ジタリト雖も同船員ノ沖合難航ノ状況ヲ聴取スルニ更ニ深瀬ヲサザルモノアリ。午後七時三十分柴治ヨリ柴山丸船員不明ノ電報ニ接シ柴山ノ度更ニ加ハル。午後九時二十分柴山丸船員不明ノ電報ニ接シ柴山ノ度更ニ加ハル。午後九時二十分柴山丸船員不明ノ電報ニ接シ柴山ノ度更ニ加ハル。...